

令和3年7月28日（水）子ども環境体験ツアー「自然とつながる未来都市」

日 程

豊川市役所 → もりの学舎^{まなびや}(長久手市) → とよたecoful town^{エコフル タウン}(豊田市) → 豊川市役所

当日の様子

今回の子ども環境体験ツアーは小学生10名が参加しました。

午前中は長久手市の愛・地球博記念公園内にある「もりの学舎」へ行きました。ここでは、インタープリター（森の案内人）の方と森の中で様々な体験をすることができます。



今回は、園内にある植物を使って自分だけのマークを作りました。例えば家紋には植物をモチーフにした様々な紋があります。自分が好きな形の葉っぱや、面白いと思ったものを紙に貼って表現していました。



この後、もりの学舎の教室に入って工作をしました。豊かな森に棲むムササビにちなんだフリスビーを作りました。

今の愛・地球博記念公園がある地域は、昔は木を燃料として使うために森の木がたくさん切られて「はげ山」になっていたことなども教えてくれました。

午後は豊田市の「とよた^{エコフル タウン}ecoful town」に行き、コンシェルジュの案内で施設を見学しました。



ここでは、持続可能なまちづくりや未来の都市の姿を紹介する展示に触れたり、タブレット等を使って見る事ができるほか、二酸化炭素を出さない究極のエコカーである燃料電池自動車や、燃料電池自動車に水素を供給している水素ステーション等の施設を見学することができます。

水素ステーションの見学では、ステーションの仕組みや、水素を冷やしてから自動車に補給していることを教えてもらい、ディスペンサーのノズルを一人ずつ持たせてもらいました。

また、プラグインハイブリッド自動車を使って、自動車から電化製品に電力を供給するところも見せてもらいました。

今回の子ども環境体験ツアーでは、自然の体験や工作を通して森の大切さや面白さを知ったり、未来の都市のすがたを見ることができました。

参加者の声（参加者アンケートより抜粋）

- ・ いろんな環境のことを知れて勉強になったのでよかったです。
- ・ 家紋とムササビを作るのが楽しかった。
- ・ 工作が好きで、いっぱい（2つ）作れて楽しかったです。
- ・ 自然のことがたくさんわかった。水素で車を動かすことができるって不思議。
・・・など